

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
EX-ル info@jaichi.jp
TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2014. 7. 10
No.1096

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

自治労連愛知県本部 職場・職種別交流集会

とき 8月10日(日)10:00～
ところ 労働会館本館および東館



7月1日、安倍政権は自衛隊を海外の戦闘地域へ派兵し日本を「戦争する国」にする「集団的自衛権」行使へ舵を切る解釈改憲の閣議決定を強行しました。憲法を無視する暴挙に、首相官邸前に詰めかけた6万人はじめ、怒りの抗議行動が全国で展開されました。

「日本を戦争する国とするな！」 集団的自衛権の行使容認に断固反対

生計費無視の給与削減NO！

給与見直しは 全てに悪影響

学事労 学習会

7月1日、学事労は「給与制度の総合的見直し」の学習会を開催し、分会長を中心に25人が参加しました。伊藤英一・県本部書記次長が「許すな！給与制度の総合的見直し」と題し、パワーポイントを使って講演しました。

伊藤書記次長は「中央優遇のための地方の地域手当ダウン」「俸給表カーブの下方修正、人事評価制度の導入と賃金へのリンク」などによる大幅な賃下げを指摘。「ローン返済という人生設計、上司の顔色をうかがう職場、公務賃下げによる地域経済の崩壊。」

そして何より賃金決定の生計費原則を無視することは許されない。反対の声を職場・家庭へ広げ、幅広い署名行動を成功させよう」と呼びかけました。

最後に鈴木委員長より「この問題は自分のことであり、地域のことであり、道ばたですれ違ってお年寄り、まちなかで踊る若者の問題でもある。みんなの問題としてとりくもう」と訴えました。

学習と行動ではね返そう 「給与制度の総合的見直し」

学んだ組合員の 怒りの声が噴出

学習会の参加者からは「自分の給料はまだ良い方」と思っているのが実家住まいだから。一人ぐらし

なら何とかなっても、家庭を持ったらとても無理。人事評価だって、上司の判断一つで賃金カットなんておかしい(20代男性)。「公務賃金が下がり、民間も下がる。その一方で軍事費は上がる？法人税は下げる？一体どこに税金が、何のために使われているのか、腹立たしいですね(ベテラン女性)。



人事院中部事務局の周りをデモ行進



不当な「給与制度の総合的見直し」について学ぶ学事労の仲間

人事院中部事務局へ 総行動で中止求める

自治労連や国家公務員労組などで構成する愛知公務員共闘は6月26日、14人事院勧告に向けた賃金改善要求と「給与制度の総合的見直し」の中止を求め、人事院中部事務局と交渉を行いました。愛知公務員共闘より「賃金カーブの抑制や高齢層の賃下げ、地域手当見直しはやめること」と中止するよう求めましたが、中部事務局は「要望内容を本院に伝えたい」の回答に終始しました。

翌27日、愛労連・愛知公務員共闘・中部ブロック国公は、人事院中部事務局包囲総行動を展開。決起集会では林達也・自治労連愛知県本部書記長が「公務と民間の賃下げ悪循環をもたらし2005年の給与構造改革を繰り返させてはいけない。総合的見直しをはね返し、最賃引き上げをはじめとした全ての労働者の賃上げへもにがんばろう」と力強く呼びかけました。集会後、人事院前でデモ行進と座り込み行動を行いました。

武力行使は政府の思うがまま？ 集団的自衛権の行使容認に怒り

集団的自衛権の行使を容認する閣議決定に、全国の怒りと反対の声が上がった7月1日、県内でも多数の抗議・宣伝行動が行われました。

愛知県平和委員会は1日の昼、名古屋市中区で緊急の宣伝行動を実施。名古屋市中職労や名水労など、

多くの自治労連の仲間も駆けつけました。

矢野・平和委員会事務局長が「集団的自衛権による武力行使は、時の政府の思うがままに歯止めがきかない。憲法違反の行使容認、安倍政権の暴走に対して私たち国民の『NO』の声を突きつけよう」と昼の



「集団的自衛権」に対する関心の高さから多くの市民が反対署名

ニュース笑ア7



セット共済 安くて安心

自治労連 掛金 1820円/月

病気入院 5000円/1日

街の声

熱心に宣伝を見つめて

いた高齢の男性は「私が小学生の時に戦争は終わってたが、国はボロボロになってしまった。安倍政権の一存だけで戦争ができてしまうなんて、絶対にいけない」と暴挙の先行きに不安を示します。自ら署名に訪れた中年の女性からは「連日のように新聞やテレビで報道され、みんなが不安を持っている。署名することで少しでもストップさせる力になりたい」と反対の声が届けられました。

まずは2200円の引き上げを

最低賃金引き上げへ ロングラン宣伝



栄三越前で最賃ロングラン宣伝

愛知の1時間あたりの最低賃金780円を当面1000円以上に引き上げ

ることを求めて、愛労連は6月21日、差額分の220分間、栄三越前でロングラン宣伝を実施しました。宣伝行動には40名、名古屋市中職労と県本部から5名が参加。リレー宣伝を続けながら、最賃リーフやティッシュを配布し、若者から高齢者まで幅広い層が署名行動に協力してくれました。

県内の時給マップづく

港・鉄道・たまりが支えた武豊の歴史



ひょっこい 職場訪問

武豊町役場 歴史民俗資料館

港・鉄道・たまり醤油など、武豊町の発展の歴史、名産品が所狭しと並べられているのは、JR武豊駅から徒歩10分の距離にある歴史民俗資料館です。入り口を抜けるとすぐ目に飛び込んでくるのは、人の背丈を軽くこえる、みそ・たまりの巨大な桶。「武豊は全国醤油サミットの開催地に選ばれるほど『たまり』で有名です」と語るのは、資料館に勤務する武豊町職労の特別執行委員、森田正樹さんです。続いて奥へ進んでいく

と、精巧なつくりの模型船と港、県内最古の鉄道の歴史が展示されています。「東海道線をつくるため、資材運搬に走った武豊線。その資材を含め全国各地より様々な物資が集まりました」と町の発展の歴史を語ってくれます。

JR主催の「さわやかウォーキング」イベント時には1日に2000人が訪れますが、普段の土日の来場者は20〜30人ほど。意外な穴場スポットの武豊町歴史民俗資料館に、あなたも足を運んでみませんか？

女性が自信を持って働くために

第34回自治体にはたらく女性の全国交流集会 in 静岡



2日目は9つの分科会が行われました

第34回自治体にはたらく女性の全国交流集会は、6月28〜29日に静岡県市民文化会館で開催され、愛知から22人が参加しました。

ジャーナリストの齋藤貴男さんが「『戦争ができる日本』なんて、ありえない！」と題して講演。「政財界にとつての『平和』な自由貿易のために軍事的支援が必要。」

会が6月28〜29日にかけて、静岡市民文化会館で開催され、愛知から22人が参加しました。

全体会の基調報告では、女性が多く働いていることが報告され、自信を持って働くために、実態を明らかにして労働条件を改善させることが大事と訴えられました。

単組定期大会 役員紹介

道行く若者は、「時給が1000円になったら嬉しい」「労働組合がこんな活動してるなんて知らなかった」。80代の高齢女性は、「一人暮らしで生活は大変。少しでも協力したい」と署名してくれました。

- ヘキナンシティイカンパニー労組(6月7日)
 - 執行委員長 板井 順子
 - 副執行委員長 安藤 孝子
 - 野村 富子

- 名古屋ブロック協議会(7月3日)
 - 議長 長 蛭原 京子
 - 副議長 長 水谷 達也
 - ” ” 長 高木 暢恵
 - ” ” 長 鈴木かおり
 - 事務局局長 佐賀 達也
 - 事務局次長 徳田 好宣

- 名古屋市病院労組(6月28日)
 - 書記 長 横井 良乃
 - 書記 長 松尾 史子
 - 書記 長 横井 良乃
- 名古屋(6月27日)
 - 執行委員長 水谷 達也
 - 副執行委員長 大井 文二
 - ” ” 木全 治郎
 - ” ” 近藤 夏樹
 - 書記 長 加藤 嘉久
 - 書記次長 佐賀 達也
- 名古屋(6月28日)
 - 執行委員長 長瀬 暢恵
 - 副執行委員長 平原 龍次
 - 書記 長 松尾 史子
 - 書記 長 横井 良乃